右細川越中守上屋敷ニ以使目付方見分ニ相成所奉
行ニ引渡下ル而同日出ニ以飯ニ而

○三月四日

東東
有村雄助

右之者此頃ハ後門出ニ付ハ不得不申ハ右之此ニ在候但る
ち後ハ組合迄書而出ス場ニ内ニ相果居ハ元家東有村
治ハ馬ニ而者之兄ニ以付ハ可申迄ノ事ニ而方ハ有しハ
以先来人南不申ハ此事病之義ニ付而届申上候也

三月四日

松平新理大夫内
西　筑大郎

○三月三日

細川越中守ニ
大笑和七郎
森　太六郎
板山　源一郎
佐藤　作之助
黒沢　右三郎
蓮田　市五郎
飯　茂豊物
森山　繁之助

右此味中甚方ニ如飯ニ付ハ手当方委細之義ニ池田
播磨守ニ而不取合ハ